



記者発表資料

『道路施設老朽化対策』パネル展を開催します。

～老朽化する道路施設を安心して使い続けられるように～

1. 概要

今年4月14日、国土交通大臣の諮問を受け、社会資本整備審議会道路分科会は、『道路の老朽化対策の本格実施に関する提言』を答申しました。提言は、“最後の警告—今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ”ということで、一刻も早い老朽化対策を警告しています。

沖縄県内の道路施設は、昭和47年の本土復帰以降、沖縄振興開発計画により集中的に整備されました。今後、これらの道路施設は急速に老朽化が進んでいくことが確実で、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

そのためには、道路施設のメンテナンスサイクルをしっかりと回す仕組みを構築することが重要であるとともに、国民の理解と支持が得られるよう努めなくてはなりません。

沖縄県においては、平成26年6月3日に国、県、市町村、高速道路会社などの道路管理者からなる「沖縄県道路メンテナンス会議（会長：南部国道事務所長）」を発足し、道路管理を効果的かつ効率的に行うため、相互に連絡調整を行うことにより、老朽化する道路施設を安心して使い続けられるよう取り組むこととしました。

その一環として、道路施設の現状を広く皆様にご紹介することを目的に「道路施設老朽化対策」のパネル展を開催することにしました。

2. 開催場所と時期

道の駅「豊崎」「許田」にて6月25日（水）より開催。別紙1参照。

3. 配布資料

『道路施設老朽化対策』パネル展（資料－1）

問合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課
道路保全企画官 當山 全浩（とうやま ぜんこう）
課長補佐 下地 博明（しもじ ひろあき）
電話番号 098-866-1915

○パネル展示

場所	イベント名	施設名		実施時期	問い合わせ先	
豊見城市	パネル展	道の駅「豊崎」	豊見城市豊崎3-39 電話番号 098-850-8280	平成26年6月25日(水) ～平成26年7月1日(火)	南部国道事務所管理第一課	098-861-2436
					開発建設部道路管理課	098-866-1915
名護市	パネル展	道の駅「許田」	名護市許田17-1 電話番号 0980-54-0880	平成26年7月4日(金) ～平成26年7月13日 (日)	北部国道事務所管理第一課	0980-52-4362
					開発建設部道路管理課	098-866-1915



道の駅「豊崎」



道の駅「許田」



○展示パネル（一例）

主な道路施設

数多くの構造物から構成される道路

道路は、トンネル、橋梁、横断歩道橋、大型標識、ボックスカルバートなど多くの構造物からできています。

定期点検対象施設
 ○道路トンネル ○道路橋 ○ジェッド・大型カルバート等
 ○横断歩道橋 ○門型標識等

トンネル



山岳トンネル、
沈埋トンネルなど

橋梁



鋼橋、コンクリート橋など

横断歩道橋



その他



(大型標識、カルバートなど)

沖縄県内の道路橋梁数

本土復帰後急激に増加した橋梁

・国道の橋梁は、昭和47年(1972年)日本復帰後、昭和50年(1975年)の沖縄海洋博覧会の開催に向けた道路整備により橋梁数が急増。

建設年別の橋梁数(沖縄総合事務局)



■橋梁の架設状況



・復帰後に架設された多数の橋梁の高齢化が進み、修繕・架替え数の増加が懸念される。

沖縄県内の道路橋梁の損傷事例

沖縄における代表的な損傷“塩害”

(1)塩害による損傷(国道)

■位置図



■概要

施設名：安富橋(国道58号)
 路線：国道58号
 位置：沖縄県読谷郡読谷町
 構造：鋼橋PCボスデンT桁
 橋長：30.80m(1区間)
 橋高：6.4m
 竣工：1979年(昭和54年)
 交通量：—
 点検結果：(42.4年度)
 損傷状況：コンクリートの浮き、はく離、鉄筋露出

■全容写真



■主桁の損傷(はく離・鉄筋露出)



■主桁の損傷(はく離・鉄筋露出)



■鉄筋腐食・露出



点検による早期損傷の発見

トンネル点検の状況

・トンネル点検により、トンネルの健全性を確認しています。

点検車による定期点検



夜間通行止めで点検



近接目視による健全性の確認



近接目視による健全性の確認



点検による早期損傷の発見

橋梁の点検の状況③

(3)県、市町村の点検状況

・県、市町村の橋梁においても定期的な点検により、橋梁の健全性を確認しています。

高所作業車による点検



点検車による点検



橋台部の点検状況



桁下からの点検状況



予防的補修・補強事例

橋梁の補修・補強事例②

・県においても、定期的な点検により早期に損傷を発見し、計画的に対処を実施しています。

県道14号 田原橋(名護市) 1976年建設

【損傷事例】



塩害による鋼材腐食、溶接部止システムの未設置

【対策事例】



溶接部止システムの設置

【損傷事例】



塩害によりコンクリート表面にひび割れ、劣化が発生

【対策事例】



ひび割れ注入工

【損傷事例】



ボルト部や端部部の腐食

【対策事例】



ボルト部塗替え、溶接部塗替え

展示パネル数 23 枚（予定）